

所沢市財政トークス



平成23年3月
6号「財政健全化」
財務部財政課発行

財政健全化について

『財政健全化』という言葉をご存知でしょうか？テレビや新聞、その他のメディアなどを通じて「言葉だけは知っている」という方も多いと思います。ただ、具体的な内容となると、「？」といったところではないでしょうか。

今回の所沢市財政トークスをきっかけに、所沢市の財政状況等をご理解いただければ幸いです。

財政健全化の制度と合わせて、わがまち『所沢』の財政状況についてお知らせします。



序章 地方自治体の財政健全化に向けて

地方公共団体（地方自治体）の財政破綻を早期に発見し改善していくことを目的として、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が平成19年6月に公布されました。

財政健全化法では、実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4つの指標について、1つでも一定基準を超えると、「早期健全化団体」あるいは「財政再生団体」と認定され、それぞれ「財政健全化計画」「財政再生計画」を策定しなければなりません。また、水道や病院などの公営企業ごとにも経営健全化基準が設けられ、基準値を超過した場合は、「経営健全化計画」の策定が必要となります。

なお、早期健全化団体とは『国はまだ関与しませんので、自治体の自主努力で改善してください』というもので、財政再生団体とは『著しく悪化していますので、国が関与しつつ財政再建を行なっていきます』といった具合です。

夕張市の財政破綻が財政健全化法施行の契機であると言われていますが、地方自治体の財政状況が悪化した場合に、迅速かつ適切な是正措置が行なえるよう、それ以前から検討されていた制度です。



皆さんと一緒に
学んでいきま～す

所沢市イメージマスコット トコロん

第1章 健全化指標について

地方自治体の財政状況を客観的に把握するため、4つの指標があるのじゃ！あわせて公営企業の経営状況を判断する資金不足比率も規定されているのですぞ。



指標
実質赤字比率 =
$$\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} = \text{一般会計等の実質赤字額(歳入 - 歳出)の標準財政規模に対する比率}$$

標準財政規模・・・普通交付税 + 国・県からの譲与税・交付金 + 市税

指標
連結実質赤字比率 =
$$\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} = \text{一般会計・特別会計・公営企業会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率}$$

連結実質赤字額・・・一般会計・特別会計・公営企業会計を含めた赤字額

指標
実質公債費比率
(3か年平均) =
$$\frac{\text{地方債の元利償還金等} - \text{特定財源等}}{\text{標準財政規模等}} = \text{公債費の標準財政規模等に対する比率}$$

地方債の元利償還金・・・国などから借入れた地方債の元金・利子を合わせた償還額 (= 公債費)

指標
将来負担比率 =
$$\frac{\text{将来負担額} - (\text{基金額} + \text{特定財源等})}{\text{標準財政規模等}} = \text{将来負担額から充当可能な財源を差し引きした額の標準財政規模等に対する比率}$$

将来負担額・・・地方債などの実質的に将来の債務・負債になる額

資金不足比率 =
$$\frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} = \text{公営企業の資金不足額の事業規模に対する比率。}$$



【所沢市では水道事業会計・病院事業会計・下水道特別会計が対象となっています】



これらの比率が適正な水準であれば、健全と言えるわけですね。

第2章 健全化指標における所沢市の数値を見てみよう

ここでは第1章で示した健全化4指標について、少し掘り下げて説明していきます。

まず始めに所沢市の指標をみてみましょう。

市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
所沢市	-	-	7.3%	41.8%

初めて健全化4指標を見た方は、何をどう健全と判断したらいいのか迷われると思います。そこで、簡潔に把握するために「赤字額」「借金額」「貯金額」の3点に着目し、健全といえるかいないか判断する方法があります。

それでは、各指標について説明していくことにします。

赤字や借金、貯金がどのくらい
なのが見ればいいのね。



実質赤字比率（「赤字額」を反映）

1年間に入った金額（歳入）より使用した金額（歳出）が多い場合、赤字となります。赤字の有無については、実質赤字比率より確認することができます。**所沢市は黒字であり該当しないため（-）**と表記されています。

連結実質赤字比率（「赤字額」を反映）

実質赤字比率と同様に、**所沢市は黒字であり該当しないため（-）**となっています。『連結』と付くのは、実質赤字比率が一般会計のみを対象としているのに対して、一般会計だけでなく、特別会計や公営事業会計も含めているからです。

なお、一般会計が黒字でも、特別会計が赤字で市全体として赤字となる場合もあることから、『連結』指標の存在は市全体としての赤字額を把握するためにとっても大切なものです。

実質公債費比率（「借金額」を反映）

自治体では、過去に借入れた地方債の元金と利子の償還を行なっています。この返済額の標準財政規模に占める割合が実質公債費比率です。**平成21年度の所沢市の実質公債費比率は7.3%**でした。

将来負担比率（「借金額」「貯金額」を反映）

将来負担額とは、市にとって将来の負債・債務になる額のことで、地方債の借入残高や、その他の債務関係等を含めたものとなります。また、自治体には基金というものがあります。家計でいう貯金と同じようなものです。

将来に支払を要する金額（借金額）から基金（貯金額）を引いた負債を標準財政規模で除した割合が将来負担比率となります。**平成21年度の所沢市の比率は41.8%**です。

第3章 所沢市の財政状況を他市等と比較してみよう

前章で所沢市の健全化比率を示しましたが、埼玉県内の他市や全国平均などと比較してみましよう。なお、参考に早期健全化基準・財政再生基準も掲載しています。

表をみると、**所沢市は他市の数値と比較して健全財政である**ことがおわかりになると思われます。

埼玉県内の他市等の状況

平成21年度決算に基づく健全化判断比率（％）

	標準財政規模 (千円)	実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
所沢市	58,110,942	-	-	7.3	41.8
川越市	58,889,140	-	-	8.9	98.7
川口市	84,946,209	-	-	11.4	96.4
越谷市	51,962,282	-	-	11.2	121.9
県内平均				9.1	72.8
全国平均				11.2	92.8
早期健全化 基準		11.25	16.25	25.0	350.0
財政再生 基準		20.00	40.00	35.0	

(実質赤字比率・連結実質赤字比率の(-)は赤字がないことを示しています)

(将来負担比率には財政再生基準がありません)

(早期健全化基準・財政再生基準を1つでも超えると早期健全化団体・財政再生団体となります)

早期健全化基準を超えた団体数はどれくらい？

全国1,797団体の早期健全化・財政再生基準該当団体数

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
早期健全化基準	0	0	11	3
財政再生基準	0	0	1	0

ちなみに、北海道・福島県・奈良県・鳥取県・沖縄県内の市町村で早期健全化基準を上回る団体がありましたが、埼玉県内では該当する市町村はありませんでした。

健全化指標についておわかり頂けますでしょうか？

財政の健全性を保つことは、将来の行政サービスの維持・向上と密接な関係を持っています。

今後も引き続き財政の健全化に努めてまいります。

所沢市には、これからも
健全な財政でいてほしいな

